

## ダンス競技会におけるマスク着用による競技選手の健康被害に対するアンケート結果報告 およびマスク着用ルールの一部緩和に関するお知らせ

北海道ボールルームダンス連盟では2020年11月より無観客および有観客にてコロナ対応を十分に行いながら大会を開催してきました。皆様のご協力のおかげで事故なく無事に大会運営を進めることが出来ております。

新型コロナウイルス感染防止対策を行うと同時に、マスクを着用した状態でハードな運動を強いられる競技選手にとって健康面への悪影響（心肺への負担が増したり免疫力が低下する）があるということに目を向けなければなりません。

そこで、会員の皆様、選手の皆様、各教室に通うダンス愛好家の皆様、関係業者の皆様を対象に「大会前および大会当日の健康チェックで問題がないと思われる健康な選手が、競技中にマスク着用のまま踊り続けることにより体調不良になるなどの健康被害を防ぐ」という目的でマスク着用ルールを緩和できる条件を模索するという内容のアンケートにご協力を頂きました。

以下、アンケートの設問と回答の集計結果です。

Q1 ダンス競技会においてソロ演技やオナーダンスなどでは競技選手はマスクを外してよい。

賛同する 554名 反対する 46名

Q2 ダンス競技会において決勝戦（フロア上の選手数が少ない）では競技選手はマスクを外してよい。

賛同する 502名 反対する 106名

Q3 ダンス競技会においてマスクを外すことを希望する選手は、PCR検査又は抗原検査の陰性証明を大会当日に提出することで、決められた条件下でマスクを外してよい。

賛同する 493名 反対する 89名

Q4 その他、マスク着用に関して思うことをご自由にお書きください。

結果として、多くの方から「選手の健康被害を考えると一定の条件の元でマスクを外して踊ることに賛同する」との回答を頂いております。

反対理由や自由なご意見も参考にし、北海道ボールルームダンス連盟では「競技中にマスクを外してよいという条件を設定し、その条件下ではマスクを外すことを希望する選手はマスクを外すことが出来、マスク着用を希望する選手はマスク着用する」という方針で競技会を運営いたします。

2022年6月1日

北海道ボールルームダンス連盟